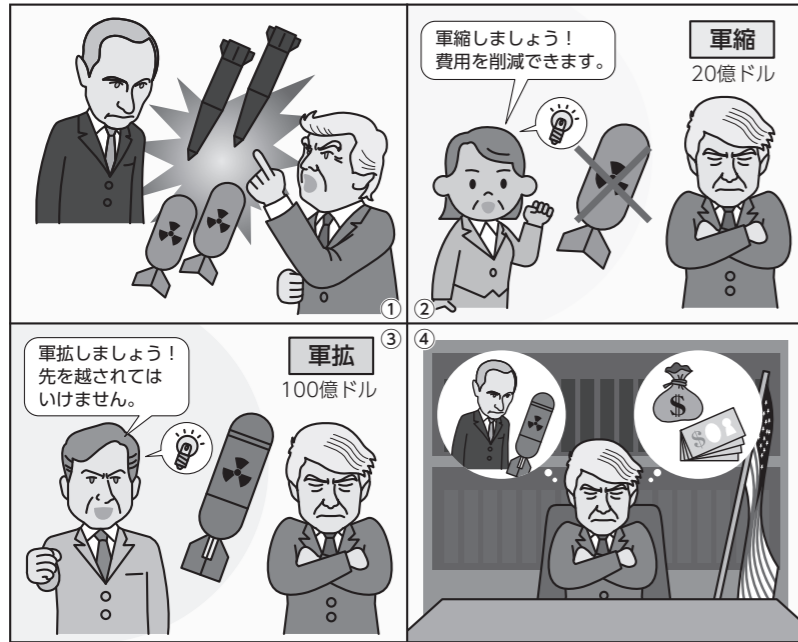


年	組	番	名前
---	---	---	----

思考実験 核兵器の削減が進まないのはなぜ?

Q1 核をめぐる対立構造を説明する際に、「囚人のジレンマ」というモデルが用いられることがある。以下のような架空の設定を基に、核兵器の削減が難航する理由を考えてみよう。(→ p.173【I】、p.173【II】①、p.174【II】②)

【設定】次のような状況について考えてみよう。



- ① A国とR国の間では、ミサイルの開発競争が進んでおり、その実力は均衡状態にあった。そんなとき、A国の大統領の下に軍事政策を担当する2人の部下がやって来た。
- ② 1人目は「軍縮」を持ちかけてきた。競争はA国にとって、そしてR国にとっても負担にしかならないので、ミサイル開発を一切やめるべきだと言う。そうすれば、軍事費は施設の廃棄処分や軍の維持費にかかる20億ドルだけで済むことになる。
- ③ 2人目は「軍拡」を持ちかけてきた。開発にかかる費用は100億ドルと高額だが、R国に先を越されないためには新型ミサイルの開発は必須だと言う。
- ④ R国の大統領も「軍縮」か「軍拡」かの判断を迫られているようだが、A国はR国の選択を知ることができない。

(1) 上の設定について、A国、R国の選択とその結果を下の表に整理してみよう。()には数字を入れ、【 】には適切なものに○を付けよう。

		R国の選択	
		軍縮	軍拡
A国の選択	軍縮	①軍事費：A国()億ドル R国()億ドル	③軍事費：A国()億ドル R国()億ドル
	軍縮	②力関係：A国【 > = < 】R国	④力関係：A国【 > = < 】R国
	軍拡	⑤軍事費：A国()億ドル R国()億ドル	⑦軍事費：A国()億ドル R国()億ドル
	軍拡	⑥力関係：A国【 > = < 】R国	⑧力関係：A国【 > = < 】R国

(2) あなたがA国の大統領だとしたら「軍縮」と「軍拡」のどちらを選択するか○を付け、理由と共に考えてみよう。

あなたの選択	選択の理由
軍縮	
軍拡	

(3) (1)で作成した表と、以下の条件を踏まえて利得表(得点表)を作成し、読み取れることをまとめてみよう。

【条件】次のアとイの合計のポイントがその国の利得となる。
 ア：軍事費について、20億ドルで済むなら+1点、100億ドルかかるなら-1点
 イ：力関係について、相手国より優位なら+3点、互角なら±0点、劣位なら-3点

【利得表】

		R国			
		軍縮		軍拡	
A国	軍縮	A国：(①)点 R国：(②)点	両国の合計 (③)点	A国：(④)点 R国：(⑤)点	両国の合計 (⑥)点
	軍拡	A国：(⑦)点 R国：(⑧)点	両国の合計 (⑨)点	A国：(⑩)点 R国：(⑪)点	両国の合計 (⑫)点

【読み取れること】

- ① “両国の利益”を優先した場合、両国の利得の合計が最大になる選択をすべきなので、A国が(①)を、R国が(②)を選択することが最も望ましいといえる。
- ② A国が“自国の利益”を優先した場合について考える。R国の選択を「軍縮」と仮定すると、A国は(④)を選択した方が自国の利得が大きくなる。一方、R国の選択を「軍拡」と仮定しても、A国は(⑩)を選択した方が利得が大きくなる。つまり、“自国の利益”を優先した場合、相手国の選択にかかわらず(④)を選択すべきといえる。
- ③ ただし、A国とR国の両国とも②のように“自国の利益”を優先した場合、A国は(①)を、R国は(②)を選択するため、結果として両国の利得の合計は最も(③)なる。

(4) 「囚人のジレンマ」とはどのような状況か、p.174【II】②を参照しながら以下の空欄を埋めてみよう。

「囚人のジレンマ」とは、お互いを(A)し合えない状態で個人が(B)に選んだ行動が、結果としてお互いにとって(C)選択になってしまうという状況である。

Q2 核兵器の削減に向けてあなたが重要だと思うキーワードを挙げ、「囚人のジレンマ」を踏まえて説明してみよう。(→ p.174【II】②)

核兵器の削減を実現するためには「 _____ 」が重要だと考えます。

なぜなら

(_____)

からです。